

* * * * * 入学案内 * * * * *

1. 専攻科の目的

新居浜高専専攻科は、科学技術の高度化に伴い、より高度な技術教育を受けることを希望する高等専門学校学生の増加、地域社会の工業技術の向上に伴う高等専門学校卒業生や社会人のリカレント教育及び高等専門学校の研究機能の強化と地域企業との連携推進に対応する目的で、平成4年4月に全国高専に先駆けて一期校として設置されました。

2. 専攻科修了認定の方針（ディプロマ・ポリシー）

新居浜高専専攻科は、専攻における教育上の目的を達成するため、所定の在学期間において、以下に定める工学基礎知識、専門知識、問題解決能力、教養、コミュニケーション能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に修了を認定します。

(1) 生産工学専攻

（教育上の目的）

生産工学専攻では、高等専門学校の課程における機械・材料系学科の5年間の教育を基礎として、その上に高度な技術社会に対応できる幅広い専門的知識を有し、国際的に活躍できる技術者を育成することを目的とする。機械工学コースでは、基礎知識を有機的に組合せ、ICT技術を活用する能力を持ち、広範な工業分野のニーズに対応できるアイデアを生み出す能力を持つ技術者を育成する。環境材料工学コースでは、環境問題や循環型社会に配慮しつつ、材料工学に関する専門知識と技術を有し、ものづくりに応用できる技術者を育成する。

（身につける能力）

- A.工学基礎知識：機械工学・材料工学分野の高度な知識を学ぶために必要な数学，自然科学，情報技術の知識を身につけ，専門分野の理解に応用できる。
- B.専門知識：機械工学・材料工学分野の知識・技術を修得し，それらを実践的に応用できる。
- C.問題解決能力：機械工学・材料工学分野の知識を活用して，課題発見と問題解決に向けて自主的に考え，他者と協働して計画を立案・実行できる。
- D.教養：豊かな教養と正しい倫理観を持ち，技術が社会や自然環境に及ぼす影響に配慮できる多面的思考力を身につけ，技術者としての責任を自覚できる。
- E.コミュニケーション能力：日本語による論理的な文章表現およびプレゼンテーションができ，国際的なコミュニケーションを円滑に行うための基礎となる英語を理解し，表現することができる。

(2) 生物応用化学専攻

（教育上の目的）

生物応用化学専攻では、高等専門学校の課程における化学・生物系学科の5年間の教育を基礎として、その上に化学および生物工学を中心とした深い知識と社会環境を考えながら主体的に活動できる能力を持ち、国際的に活躍できる技術者を育成することを目的とする。

(身につける能力)

- A. 工学基礎知識：化学・生物工学分野の高度な知識を学ぶために必要な数学，自然科学，を身につけ，専門分野の理解に応用できる。
- B. 専門知識：化学・生物工学分野の高度な知識・技術を修得し，それらを実践的に応用できる。
- C. 問題解決能力：化学・生物工学分野の高度な知識を活用して，課題発見と問題解決に向けて自主的に考え，他者と協働して計画を立案・実行できる。
- D. 教養：豊かな教養と正しい倫理観を持ち，技術が社会や自然環境に及ぼす影響に配慮できる多面的思考力を身につけ，技術者としての責任を自覚できる。
- E. コミュニケーション能力：日本語による論理的な文章表現およびプレゼンテーションができ，国際的なコミュニケーションを円滑に行うための基礎となる英語を理解し，表現することができる。

(3) 電子工学専攻

(教育上の目的)

電子工学専攻では，高等専門学校のカリキュラムにおける電気・電子・情報系学科の5年間の教育を基礎として，その上に電子機器や制御機器の設計開発に不可欠な幅広い専門知識・技術とそれを応用する能力を有し，国際的に活躍できる技術者を育成することを目的とする。

(身につける能力)

- A. 工学基礎知識：電気・電子・情報工学分野の高度な知識を学ぶために必要な数学，自然科学の知識を身につけ，専門分野の理解に応用できる。
- B. 専門知識：電気・電子・情報工学分野の高度な知識・技術を修得し，それらを実践的に応用できる。
- C. 問題解決能力：電気・電子・情報工学分野の高度な知識を活用して，課題発見と問題解決に向けて自主的に考え，他者と協働して計画を立案・実行できる。
- D. 教養：豊かな教養と正しい倫理観を持ち，技術が社会や自然環境に及ぼす影響に配慮できる多面的思考力を身につけ，技術者としての責任を自覚できる。
- E. コミュニケーション能力：日本語による論理的な文章表現およびプレゼンテーションができ，国際的なコミュニケーションを円滑に行うための基礎となる英語を理解し，表現することができる。

3. 専攻名及び修業年限

- (1) 生産工学専攻 2年
- (2) 生物応用化学専攻 2年
- (3) 電子工学専攻 2年

4. 学士（工学）の学位取得について

本校の専攻科は、学位授与機構の認定を受けており、2年以上にわたって62単位以上を修得し、同機構が行う審査に合格した者は、専攻科修了時に学士（工学）の学位を取得することができます。

なお、学位授与の審査方法の詳細については、専攻科入学後、お知らせします。
不明な点については、直接、本校学生課教務係にお問合せください。

5. 入学時及び学位授与申請時に要する経費

(1) 専攻科入学時に要する経費（予定額）

費 用	金 額
入 学 料	84,600円
授 業 料（前期分）*1	117,300円
学生会費（前期分）	3,500円
学園祭費（前期分）	1,000円
後援会費（前期分）	9,000円
独立行政法人日本スポーツ振興センター共済掛金（1年分）	1,550円
教科書	約20,000円
計	約236,950円

- (注)*1 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。
* 新居浜高専以外の教育機関の出身者は、上記の経費に加え、学生会入会金2,000円、後援会入会金10,000円、同窓会費7,500円が別途必要となります。
* 入寮を希望する場合は、上記の経費以外に、寄宿料、入寮費、学寮運営費、寮生会費、食費食堂経費が必要です。ただし、寮生会の学寮運営のサポートをすることが条件となります。また、居室定員を超過する場合、入寮をお断りすることがあります。
* 経費引落とし時には、別途口座振替手数料66円が必要となります。

(2) 学位授与機構の学位審査手数料

専攻科修了時に学位取得をめざす者は、学位授与機構の学位授与申請に伴う学位審査手数料(32,000円：令和6年度実績)が必要です。

6. 高等教育の修学支援新制度

「大学等における修学の支援に関する法律」に基づき、本校でも本科4・5年生及び専攻科生（本科4年生以降に、休学理由以外で留年した学生は除く。）のうち、認定要件を満たす、住民税非課税世帯、住民税非課税世帯に準ずる世帯及び多子世帯の学生は、次の支援を受けることができます。詳細については、専攻科入学後、お知らせします。

(1) 授業料及び入学料の減額・免除

(2) 独立行政法人日本学生支援機構（以下「日本学生支援機構」という。）の給付型奨学金の受給

※ただし、学業成績の基準を満たさなくなった場合には支援が打ち切られる可能性があり、場合によっては、返還義務が生じます。

また、毎年、家計基準が確認され、支援区分（支援額）が見直されます。

7. 国立高等専門学校機構における入学料・授業料等の免除及び徴収猶予

以下の事由により、入学料・授業料等を免除又は徴収猶予される場合があります。

- (1) 入学料免除（免除額は全額又は半額）※別に定める家計基準を満たす必要があります。
 - ① 入学前1年以内において、学生の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡した場合又は対象入学者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合
 - ② 上記①に準ずる場合であり、かつ、校長が相当と認める事由がある場合
- (2) 入学料徴収猶予
 - ① 経済的理由によって納付期限までに納付が困難な場合（別に定める家計基準を満たす場合をいう。）であり、かつ、学業優秀と認められる場合（別に定める学力基準を満たす場合をいう。）
 - ② 入学前1年以内において、学資負担者が死亡した場合又は当該入学者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、入学料の納付期限までに納付が困難であると認められる場合（別に定める家計基準を満たす場合をいう。）
 - ③ その他やむを得ない事由があると認められる場合
- (3) 授業料免除（免除額は全額又は半額）
 - ① 免除算定基準日（原則として、前期の授業料にあつては4月1日、後期の授業料にあつては10月1日をいう。）前6月以内（入学した日の属する期分の授業料を免除する場合は、入学前1年以内）において、学生負担者が死亡した場合又は対象学生若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合
 - ② 上記①に準ずる場合であり、かつ、校長が相当と認める事由がある場合
- (4) 寄宿料免除
学資負担者が死亡した場合又は対象学生若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、寄宿料の納付が著しく困難であると認められる場合（別に定める家計基準を満たす場合をいう。）
※対象期間：当該事由の発生した日の属する月の翌月から6月間の範囲内において校長が必要と認める期間

8. 奨学金

日本学生支援機構の関係法令に基づき、経済的理由により修学が困難な学生に対し、奨学金が貸与されます。

また、経済的理由により修学困難な学生に対し、自治体及び民間等の奨学金があります。

9. 修了者の進路について

専攻科修了後の進路は、大学院進学の道、あるいは官公庁や企業への就職の道などを選択することができます。

※ 募集要項の請求や不明な点は、下記までお問合せください。

〒792-8580 新居浜市八雲町7番1号

新居浜工業高等専門学校 学生課教務係

TEL 0897-37-7724・7725

FAX 0897-37-7844

E-mail kyoumu-c.off@niihama-nct.ac.jp

URL <https://www.niihama-nct.ac.jp/>